

モザンビークのカーボ・デルガード州に おける平和、社会融和および 紛争予防の促進



日本補正予算：2020年3月～2021年3月

予算：83万6,572米ドル

主なパートナー：政府の主要窓口として内務省と行政管理・公共機能省、および、実施パートナーとして国連、市民社会組織(CSO)、民間セクター

目的

カーボ・デルガード州のプロジェクト対象区域における平和の定着と社会の融和に向けた復興・開発支援に取り組みます。

このプロジェクトにより、若い男女をはじめとする5,000人が、地域共生社会の一員として就労活動を担い、所得を確保し、効果的にコミュニティに貢献できる体制が形成され、持続可能な開発と発展の促進に携わります。

プロジェクトの成果

成果1：暴力の防止と予防啓発に必要な認識を向上させること

成果2：暴力の連鎖の被害に遭う可能性が高い弱者層の生活能力を改善すること

SDGs への貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標1、5および16に貢献します。

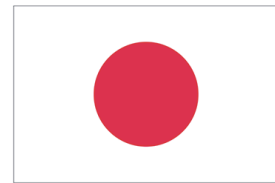
1 NO
POVERTY



5 GENDER
EQUALITY



16 PEACE, JUSTICE
AND STRONG
INSTITUTIONS



From
the People of Japan

開発課題

2019年にカーボ・デルガード州を襲ったサイクロン「ケネス」は、モザンビークに壊滅的な人的、社会的、経済的被害を及ぼしました。コミュニティの暮らしやインフラ、サービスは損傷を受けるか、破壊され、災害以前からあった根本的な脆弱性を浮き彫りにしました。貧困、不平等、基本的サービスの不備といった脆弱性の根本的原因も重なり、カーボ・デルガード州では近年、農村部や村落での暴力が増えてきています。現在のところは局地的なものにとどまっているとはいえ、反乱や暴動が全国的に広がれば、平和の定着や社会の安定化、経済復興に向けた国の取り組みが根底から損なわれかねません。この状態を軽視するべきではありません。さらに、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的大流行(パンデミック)に迅速に取り組まなければ、域内の暴力や紛争の火に油を注ぎかねない事態を招くおそれがあります。